

2020 年度教育研究活動報告用紙(様式9)

氏名	南里 宏樹	職名	嘱託教育職員	学位	博士(医学)(九州大学 1983年)
----	-------	----	--------	----	--------------------

研究分野	研究内容のキーワード
栄養代謝学 生化学 臨床栄養学 細胞生物学	活性酸素 酸化ストレス 抗酸化防御機構 糖毒性 糖化タンパク質 血管内皮細胞

研究課題
栄養が健康に及ぼす影響を、おもに活性酸素による酸化ストレスと高血糖による糖毒性に注目して、生化学・細胞生物学的手法を用いて解析する。特に、高血糖による血管内皮細胞の機能障害を、活性酸素に対する抗酸化防御機能との関連において検討する。

担当授業科目
基礎栄養学Ⅰ(1年生後期)2クラス 基礎栄養学Ⅱ(2年生前期)2クラス 栄養学実習(2年生後期)2クラス 運動・環境と栄養(3年生後期;分担) 2クラス

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【 基礎栄養学ⅠおよびⅡ 】</p> <p>基礎栄養学は、化学を苦手とする学生が多いため、基礎的な生化学と関連づけながら講義した。また、講義の始めに前回の講義内容を簡単に復習して、全体の流れが分かるように留意した。重要事項は繰り返し強調するように心がけた。講義で使用したスライドは、すべて印刷して資料として配布した。また、管理栄養士国家試験の過去問題(2000年～2020年)の解説集および基礎栄養学の重要項目の練習問題を配付し、日ごろの予習復習に役立つようにした。</p> <p>今年度は新型コロナ感染予防のため、多くの授業がオンラインで実施されたが、学生の反応が分かるように、また、授業を身近に感じるように、その日の授業に関連する練習問題をなるべく多くの学生にあて、マイクをONにして答えさせるようにした。</p>
<p>授業科目名【 栄養学実習 】</p> <p>今年度は新型コロナ感染予防のため、後期の前半は対面授業、後半はオンラインで実施した。対面の実習では、従来通り、栄養素およびその代謝産物を測定し、各栄養素の栄養学的意義とその代謝について理解できるように留意した。後半のオンライン授業では、測定などのやり方については動画などを用いて説明し、測定結果については以前の代表的データを提示して、その意義を考察させるようにした。それぞれの実習について、その栄養学的意義について考えさせるためのレポートを課し、1, 2年次の基礎栄養学の復習ができるようにした。</p>
<p>授業科目名【 運動・環境と栄養 】</p> <p>3人の教員が分担する栄養学科3年生のための講義で、「環境と栄養」分野を担当した。ストレス、体内リズム、気温、気圧、重力など5つの環境因子について、「栄養」との関りを身近な具体例を挙げながら講義した。また、関連する管理栄養士国家試験の過去問の解説集を配付し、日ごろの予習復習に役立つようにした。</p> <p>今年度は新型コロナ感染予防のため、授業がオンラインで実施されたが、学生の反応が分かるように、また、授業を身近に感じるように、その日の授業に関連する過去問題をなるべく多くの学生にあて、マイクをONにして答えさせるようにした。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本生化学会 日本栄養・食糧学会 日本肥満学会 日本栄養改善学会		1977年4月より現在に至る 2003年5月より現在に至る 2008年4月より現在に至る 2014年1月より現在に至る

2020年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(1) 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者 () 内は学外者	交付決定額 (単位:円)

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(2) 個 人 研 究			
研 究 題 目	交付団体	交付決定額 (単位:円)	備 考

社 会 に お け る 活 動 等		
団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 期 間 等

学 内 に お け る 活 動 等 (役職、委員、学生支援など)
大学嘱託教育職員 (栄養学科) (2020年4月1日~2021年3月31日)